

「今後の生涯学習施策の進め方について（答申）」（概要）

▶ 諮問内容

「今後の生涯学習施策の進め方について」

- ①生涯学習行政の今後のあり方について
- ②生涯学習施設の今後のあり方について
- ③社会状況を踏まえた新たな生涯学習施策について



▶ 答申の構成及び概要

1 町田市の生涯学習を取り巻く環境（本文2～4ページ）

町田市の少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化などの状況や、行政経営改革プランや公共施設等総合管理計画に基づく検討内容など、諮問の背景となる社会状況や市の動向についてまとめています。行政を取り巻く環境が厳しい一方で、行政以外の機関などの動向から市民の学習機会が多様化している状況についても言及しています。

2 施策を検討するうえでの基本的な考え方（本文5～9ページ）

社会状況の変化を踏まえた生涯学習の意義や必要性について整理をしたうえで、生涯学習行政の使命や生涯学習施設の課題について整理をしています。併せて、今後の生涯学習を推進するための方法論についても言及しています。

(1) 生涯学習は何のためにあるか

- ◆市民が社会の変化に対応しながら生活の幅を広げていく
- ◆市民と社会を結びつけ、主体的にまちづくりに参画する市民を育てる

(2) 生涯学習行政の使命とは何か

- ◆あらゆる市民が学ぶことができる環境を整備する
- ◆長期的な視点で教育や文化の価値を明確にし、市民の理解を求める
- ◆学びを媒介として市民と市民、市民と行政、行政内部の結びつきを強化する
- ◆地域人材を発掘・育成し、地域社会や市民活動とつないでいく

(3) 生涯学習施設の取り組むべき課題

- ◆施設固有の存在意義や価値についての理解を広める
- ◆教育に関わる他の施設や機関や団体とのネットワークを形成する
- ◆施設運営への市民参画を促進する

(4) 生涯学習の方法論を見直す

- ◆双方向型・体験型学習を推進する
- ◆世代間交流を促進する

3 今後重点的に取り組むべき生涯学習施策（本文10～15ページ）

今後重点的に取り組むべき施策を以下の4点にまとめ、具体策とともに言及しています。

(1) まちづくりの住民参画の促進

地域の課題解決にむけて主体的に考え、行動する市民を増やしていくための取組についてまとめています。

- ◆ 地区協議会等との連携による地域課題解決や地域活性化を促進する学習事業
- ◆ 市民生活に直結するタイムリーな行政課題を取り上げた参加型事業 など

(2) 地域・家庭・学校の協働による教育活動の推進

学校教育と社会教育が協働により進めるべき取組についてまとめています。

- ◆ 学校支援の人材（VCなど）との研修会を通じた情報共有やニーズ把握、人材の発掘・派遣に関する仕組みづくり
- ◆ 生涯学習施設を活用した児童・生徒への発表機会の提供 など

(3) 一人ひとりの学習成果が地域で生かされる社会づくり

市民の学習成果の地域還元を促進する取組についてまとめています。

- ◆ 関係機関と連携した学習成果を生かす場へのマッチング
- ◆ 若年層の企画・参加型事業の充実 など

(4) 地域文化の創造・継承

市の歴史・文化の普及啓発及び魅力の向上に関する取組についてまとめています。

- ◆ 子どもが親しみを持つきっかけとなる学校や子どもセンター等への出張講座
- ◆ 他の分野との融合による文化資源の新たな魅力の創出 など

